

## 9 資料

1	食は東南アジアにあり	星野 龍夫	S59・10	24	和白干潟の生きものたち	逸見 泰久	H6・9
2	焼酎讃	鈴木 博	S52・1	25	アジアルネサンス	角山 栄	H7・2
3	ティーロードー日本茶の来た道	松下 智	H5・10	26	琉球の風	陳 舜臣	H4・9
4	女の心菓子	千代 芳子	S63・10	27	福岡はなぜ元気が	毎日新聞福岡総局	H12・9
5	再現江戸総菜事典	川口はるみ	H7・12	28	スーパーラット	金丸 弘美	H12・12
6	球磨焼酎二十九面相	末吉 駿一	H11・10	29	阿蘇グリーンストック	佐藤 誠	H5・9
7	つけもの風土記	酒井佐和子	S44・12	30	アジアの都市と建築	加藤 祐三	S61・12
8	東アジアの食文化探検	周 達夫	H3・7	31	チョコリと鎧	池 明観	S63・12
9	聞き書 福岡の食事	中村 征夫	S62・2	32	嬉野湯宿物語	古賀 敏明	H2・8
10	〃 佐賀の食事	原田 角郎	H2・11	33	徳之島の闘牛	松田 幸治	S57・12
11	長崎料理歳時記	小川雄一郎	H11・5	34	福岡県の植物	福岡植物友の会	H3・6
12	麺・イモ・茶	NHK取材班	H2・5	35	世界の都市の物語7 ソウル	姜 在彦	H4・7
13	泡盛	沖 縄 県	H8・10	36	光の街影の街	海野 弘	S62・6
14	あわもり	沖縄県立博物館友の会	H3・3	37	幕府挑発	伊牟田比呂多	H12・12
15	羊羹資料館案内	村岡総本舗	H8・10	38	中国民族誌	周 達生	S55・6
16	肥前の菓子	〃	H11・2	39	臼杵石仏	賀川 光夫	H7・5
17	源氏の由可里	吉川冬季子	S60・12	40	走れ！ライター独立宣言	金丸 弘美	H10・12
18	長崎の食文化	村山 元紀	H6・4	41	仮面と信仰	中村 保雄	H5・4
19	ふるさととお菓子	蒸 気 屋	H14・11	42	九州の明治文化財	日本観光協会九州支部	S43・10
20	日本の菓子	亀井千歩子	H8・8	43	日本のむらの百年	光山 俊直	S42・12
21	まともな食べ物が食べたい	金丸 弘美	H9・11	44	ダイオキシソ	宮田 秀明	H11・3
22	しにせの味の心	サンデー毎日編	S46・5	45	鉄道のすべてがわかる事典	川島 令三	H12・10
23	華僑コネクション	樋泉 克夫	H5・8	46	河童	大島建彦編	S63・4
				47	新しい住宅を求めて	藤岡 洋保	H4・12
				48	用と美	南日本新聞社編	S41・2
				49	歎異抄入門	本多 顕彰	S39・7

50	福岡県の樹木	猪上 信義	H10・11	76	戦後誌	朝日新聞西部本社	H7・10
51	水とエネルギーの循環経済学	田島代支宣	H13・4	77	雲仙噴火の日々	小林松太郎	H4・8
52	景德鎮陶瓷芸術	江西美術出版社	H5・5	78	熊本城	藤岡 通夫	S51・4
53	物語の中世	保立 道久	H10・11	79	噴火と闘った島原鉄道	葦書房編	H10・4
54	世界都市再開発NOW	関西情報センター	H1・7	80			
55	放送ーその過去・現在・未来	土屋 精作	H7・3	81	熱烈オーエン大好きマンガ	夢本編集部編	H4・7
56	「みやこ」という宇宙	園田 英弘	H6・4	82	スペインー生命の印象	松石 泉	H4・4
57	女がまちをつくる	市町村シンポジウム実行委員会	H1・10	83	諸国名所北斎と広重	榎崎 宗重	S39・12
58	ムツゴロウが教える日本の起源	久光 教弘	H7・3	84	江戸の風呂	今野 信雄	H1・2
59	アジアは街に訊け	市川 隆	H6・11	85	習事十三箇條	干 宗左	S32・11
60	暮らしに生きる竹	濱田 甫	H8・12	86	東西の服装史	杉本正年他	S60・4
61	さつま今昔	NHK鹿児島放送局	S58・8	87	美術館とは何か	大島 清次	H8・6
62	リゾートの思想	一条 真也	H3・2	88	博多館からミュージアムへ	上田 篤	H1・3
63	唯我独尊の国から	西日本新聞文化部	H12・10	89	かごしまの美術館	四蔵 典夫	H8・9
64	カンガルーの憂鬱	高田真理子	H12・9	90	仏教の勝利	梅原 猛	S55・3
65	博多織と佐賀錦	西村 允孝	S54・3	91	音の風景とは何か	山岸美穂・山岸 建	H11・6
66	中国名勝旧跡事典2	中国国家文物事業管理局	S62・3	92	アジア読本台湾	笠原政治・植野弘子	H7・8
67	まちづくり読本	延藤 安弘	H2・5	93	匠の技とこころ	福島 建治	H12・7
68	「まさか、私が・・・」	武藤 俊之	H13・11	94	海のシルクロードとベトナム	日本ベトナム研究会議編	H5・11
69	都市空間の感性	柏木 博他	H4・1	95	新説・日中古代交流を探る	いき 一郎	H1・4
70	シーボルトの絵師	金子 厚男	S57・3	96	マダム貞奴	杉本 苑子	S50・1
71	広島県百名山	中島 篤巳	H10・10	97	とっばすの風	宮崎 暢俊	H6・10
72	むらからの便り	末永 昌巳	H5・3	98	理解することへの抵抗	加藤 典洋	H10・10
73	トランスアーキテクチャー	菊池 誠	H8・5	99	水辺と都市	上田 篤	S61・5
74	韓国がわかる11人の視点	多田則明編	H6・5	100	名前を探る旅	中村 尚樹	H12・8
75	25人のなぐり込み美学	上田 恵子	S62・1	101	ウォーターフロント開発の手法	横内 憲久	S63・5

102	モンゴル草原サイシシガ家人々	木村 哲行	H 6・3	128	九州戦国合戦記	吉永 正春	H 6・11
103	中国古陶磁入門	中島誠之助	H 8・7	129	玄界灘に架けた歴史	姜 在彦	S 63・5
104	アダンの画帖	南日本新聞社	H 7・4	130	天草キリシタン史	北野 典夫	S 62・4
105	日本文化と八幡神	佐々木孝二	H 1・10	131	天文館の歴史	唐鎌 祐洋	H 4・9
106	日本の近世	朝尾直弘編	H 3・6	132	北九州 - 縄文より維新まで -	箭内健次編	S 43・11
107	サンアントニオ水都物語	ヴァーノン・G・ズンカー	H 2・4	133	書紀と九州王朝	吉田 舜	H 4・6
108	新・韓国風土記第一巻	ソウル市〈根の深い木〉社編	H 1・8	134	ザビエルとヤジロウの旅	大住 広人	H 11・8
109	子どもたちが見つけたありがとう	RKB毎日放送ラジオ制作部編	H 12・10	135	異国と九州	地方史研究協議会	H 4・10
110	日本人と美	佐山 道雄	S 45・11	136	遙かなる奴国	藤島 正之	S 63・7
111	地球環境時代のデザイン潮流	池亀 拓夫	H 9・11	137	歴史的文化遺産が生きるまち	石橋全国連絡会議	H 7・9
112	海も天才である	中村 征夫	S 60・5	138	歴史の町並み再発見 九州・沖縄・山口・島根	読売新聞西部本社編	H 5・9
113	留学生が見た日本	岩男寿美子・萩原 滋	S 62・2	139	日本の中の朝鮮文化	金 達寿	S 63・4
114	女性編集者	アリス・マクダーモット	S 59・10	140	古代海人の謎	田村圓澄・荒木博之編	H 3・3
115	ヴェネツィア	陣内 秀信	S 61・6	141	甦る中世の博多	朝日新聞福岡総局編	H 2・8
116	貧乏なクィンテット	たばたとしあき	H 10・8	142	博多町人と学者の森	〃	H 8・2
117	スズメ百態面白帳	大田 真也	H 12・12	143	海の正倉院沖の島	武藤 正行	H 5・9
118	茶の世界史	角山 栄	S 55・12	144	それは九州に始まった 1～3	テレビ西日本	H 1・6
119	ひも	道明新兵衛	S 38・3	145	鴻臚館の時代	朝日新聞福岡総局編	S 63・5
120	倭人の絹	布目 順郎	H 7・2	146	続・邪馬台国研究の死角	次郎丸達朗	H 5・9
121	イギリスのそよ風にのって	矢木 信男	H 6・3	147	海寇うみのぞく上・下	和田 武久	H 3・8
122	アジア読本ヴェトナム		H 7・11	148	バテレンと宗麟の時代	加藤 知弘	H 8・11
123	長崎ピーストレイル	MUP ながさき	H 7・7	149	九州と日本社会の形成	横山浩一・藤野保	S 62・1
124	みやざきの文学	宮崎県芸術文化協会	H 17・1	150	那覇の空間構造	吉川 博也	H 1・6
125	宗像の歴史と文化財	宗像市教育委員会	S 63・3	151	図説琉球王国	高良倉吉・田名真之	H 5・2
126	古代を考える太宰府	田村圓澄編	S 62・5	152	倭国ここに在り	吉留 路樹	H 3・11
127	古代学最前線	中村 俊介	H 10・3				

153	五島史と民俗	平山 徳一	H 1・10	179	わが町の歴史小倉	米津 三郎	S 56・7
154	坊津	森 高木	H 4・4	180	長崎発・歩く考える	片寄 俊秀	H 5・8
155	首里城入門	首里城研究グループ	H 1・9	181	海外情報と九州	姫野 順一	H 8・8
156	九州の風土と歴史	川添昭二・瀬野精一郎	S 52・8	182	長崎歩く考える	片寄 俊秀	S 60・5
157	しものせき市制百年	毎日新聞下関支局編	H 1・3	183	長崎発・町並み素描る旅	〃	H 5・8
158	九州王朝一元論	吉田 舜	H 5・9	184	蘭学の背景	石田 純郎	S 63・5
159	まぼろばの邪馬壹国	光朝和辰明	H 8・2	185	九州キリシタン風土記	濱名 志松	H 1・6
160	元寇物語	田中 政喜	S 45・8	186	煙を星にかえた街	四方 洋	H 3・9
161	近世初期天草キリシタン考	今村 義孝	H 9・5	187	紫川マイタウン・アイリバー物語	北九州市	H 8・10
162	史都平戸	松浦資料博物館	S 37・1	188	「鉄の都」は甦る	吉田 宏	H 2・11
163	筑紫ものがたり	朝日新聞社	S 42・8	189	読む絵巻小倉	米津 三郎	H 2・10
164	カクレキリシタンの信仰世界	宮崎賢太郎	H 8・11	190	北九州市の歴史的建造物	北九州市	H 1・9
165	九州の精神的風土	高松 光彦	S 55・12	191	北九州彩時記 夏季編	〃	H 2・8
166	近世に生きる女たち	福岡地方史研究会	H 7・5	192	〃 冬季編	〃	H 1・12
167	沖縄の年中行事	崎原 恒新	H 1・5	193	〃 春季編	〃	H 2・5
168	沖縄の民俗とそのルーツ	窪 徳忠	H 2・9	194	長崎居留地 一大きいなる遺産	長崎 市	H 1・3
169	沖縄地名考	宮城 真治	H 4・1	195	福岡城物語	朝日新聞福岡本部	H 8・5
170	琉球王朝史	新里 金福	H 5・1	196	古代海人の謎	田村圓之・荒木博之	H 3・3
171	新版・琉球の時代	高良 倉吉	S 55・12	197	博多商人とその時代	武野 要子	H 2・7
172	対馬物語	田井友季子	H 3・5	198	秀吉と博多の豪商	工藤 静也	H 9・11
173	対馬の歴史探訪	永留 久恵	S 57・9	199	はかた彩時記	古川 忠	S 58・7
174	対馬の庶民誌	城田 吉六	S 58・12	200	博多大正世相史	井上 精三	S 62・8
175	対馬の地名とその由来上・下	藤井 郷石	S 62・1	201	博多山笠	プランニング秀巧社	H 6・6
176	古代日本と対馬	永留 久恵	S 60・12	202	ふるさと歳時記	福岡 市	H 5・3
177	辺界の異俗	高澤 秀次	H 1・12	203	博多織を識る	畑野与惣治	S 45・1
178	赤米伝承	城田 吉六	S 62・9	204	筑前の街道	近藤 典二	S 60・4

205	ハカタはかた	朝日新聞福岡総局	S44・10	229	沖縄県の歴史散歩	沖縄歴史研究会	S52・3
206	海が語る古代交流	〃	H1・12	230	沖縄歴史散歩	大城 立裕	S55・12
207	古代の都市博多	〃	H1・4	231	台北歴史散歩	荘 民 鵬	H3・4
208	博多ことば	江頭 光	H10・6	232	九州河童紀行	九州河童の会	H5・4
209	江戸の博多と町方衆	朝日新聞福岡総局	H7・5	233	福岡県の歴史散歩	福岡県高等学校歴史研究会	H1・11
210	福岡の歴史	福 岡 市	S54・10	234	全国名湯・秘湯めぐり	望月 一虎	H8・9
211	福岡の文化30年	〃		235	福岡市・北九州市はいま	落合英秋・森脇喜一	H5・5
212	宝満山歴史散歩	森 弘子	H12・5	236	おとなの遠足	勝瀬志保・竜田清子	H11・4
213	現代紀行文学全集 南日本篇	志賀 直哉 佐藤 春夫 川端 康成	監修 S35・6	237	大分県の山歩き	吉川 満	H1・6
214	日向灘沿岸をゆく	三又 喬	H9・7	238	博多文学案内	原田 種夫	S47・5
215	ふるさと－史跡と風土をたずねて－	熊 本 市	S55・8	239	奄美・もっと知りたい	神谷 裕司	H9・7
216	新熊本文学散歩	山崎 貞士	H6・10	240	新しいまりの歴史散歩	伊万里市郷土研究会	S51・11
217	油山へ行こう	城 南 区	H8・8	241	柳川と筑後路	角田 嘉久	S52・7
218	博多歴史散歩	白石 一郎	S48・9	242	北九州の山と自然	帆柱自然公園愛護会	H5・10
219	熊本歴史散歩	荒木 精之	S47・9	243	福岡を歩く	石井忠他著	S60・5
220	宮崎県の歴史散歩	宮崎県高等学校社会科研究会	H2・6	244	長崎県の山歩き	林 正康	S62・11
221	福岡県の山歩き	福岡山の会	H12・4	245	福岡・佐賀県の山歩き	吉川 満	H4・11
222	九重山博物誌	梅木 秀徳	H9・8	246	ここにほんとうの空を	小台三四郎	S41・6
223	福岡県地名考	梅林 孝雄	H12・11	247	亭主の居場所	深田 俊祐	H12・4
224	島原街道を行く	松尾 卓次	H9・10	248	博多んもんの詩「山笠生命の男たち」	大庭 宗一	H4・4
225	九重の自然と歴史	松本 徂夫 他著	H10・6	249	河伯洞発掘	鶴島 正男	S60・12
226	かごしま散歩画帖	オフィス垂徒夢	H7・4	250	うたがき炭鉱記	伊藤 時雨	H9・2
227	ぶらり宮崎散歩道	楠山 永雄	H8・3	251			
228	九州の温泉と山	足利武三・井上優	H4・4	252	玄海の島々	野間 吉夫	S48・9
				253	福岡鉄道風土記	弓削 信夫	H11・1
				254	私の筑豊物語	玉井 政雄	S55・7

255	鷗外「小倉左遷」の謎	石井 郁男	H 8・3	278	俳句鑑賞入門	永田 義直	S 58・5
256	美の回路—九州のかたち探訪—	藤本 健八	H 7・10	279	俳句用語の基礎知識	村山古郷・山下一海	S 59・1
257	光溢れる南の島よ	中村 地平ほか		280	俳句上手になる本	楠本 憲吉	S 60・7
258	日本随筆紀行 宮崎・鹿児島・沖縄		H 63・6	281	俳句入門	秋本不死男	S 46・11
259	炭坑節物語	深町 純亮	H 9・11	282	現代俳句 上巻	山本 健吉	S 27・6
260	九州山地に生きる	朝日新聞社編	H 6・3	283	真理は生活にあり	谷口 雅春	S 53・10
261	島の時間	赤瀬川原平	H 5・8	284	天の手紙(上)(下)	恒岡 一郎	S 29・4
262	九州芸術風土記	劉 寒吉	S 58・3	285	日蓮正宗・方便品寿量品講義	戸田 城聖	S 33・2
263	日本の民俗 福岡	筑紫 豊	S 49・4	286	回天の聖者	李 祥昊	S 61・5
264	“ 佐賀	市場直次郎	S 47・4	287	御書と四条金吾	池田 大作	S 50・5
265	火の神・山の神 九州の俗面考	高見 乾司	H 7・8	288	続聚秀録	佼成出版社	S 40・11
266	九州の工芸地図	後藤 完一	S 54・3	289	雄飛ヶ丘の靖春	瀬尾 一彦	H 5・5
267	市川のまつり	矢俣九州男	S 53・9	290	他人さえもいとおしく	宮城 顕	H 13・10
268	西日本民俗博物誌<上><下>	谷口 治達	S 53・8	291	自分を愛するということ	“	H 12・10
269	文学碑の旅 西日本	丸山 豊ほか	S 60・4	292	「朝の読書」がもっと楽しくなるアイデア集	穴見 嘉彦	H 13・10
270	南九州の仮面	黎明 館	H 4・1	293	念仏者のしるし	大江 憲成	H 16・10
271	画文集新博多風土記	福岡文化連盟	S 58・5	294	子育てのQ & A	大城 清	H 12・12
272	西日本風土記	西日本新聞社	H 4・6	295	浄土の歎き(上)(中)	平野 修	H 10・7
273	平和の礎V~XIII シベリア強制抑留者が語り継ぐ苦勞	平和祈念事業特別基金	H 7~	296	仏説無量寿経 上巻・下巻	古田 和弘	H 16・10
274	平和の礎V~XIII 海外引揚者が語り継ぐ苦勞	“	H 7~	297	東洋陶磁名品展	日本経済新聞社	S 56・10
275	平和の礎V~XIII 軍人軍属短期在職者が語り継ぐ苦勞	“	H 7~	298	20世紀の巨匠たち	フジカワ画廊	S 62・3
276	木下邦子展	木下 邦子	S 57・5	299	ルノワール印象派の巨匠たち展	福岡市美術館	S 61・11
277	俳句の上達法	鷹羽 狩行	S 63・1	300	茶陶高取	福岡市教育委員会	S 56・10
				301	田川市美術館10年のあゆみ FUKUOKA STYLE	田川市美術館	H 13・10
				302	Vol.1 水辺都市		H 3・1

303	Vol.2 北九州ルネサンス海峡物語	H 3・6	329	Vol.28 食の王国・九州	H 12・6
304	3 朝鮮通信使	H 3・12	330	29 美術館へ行こう	H 12・10
305	4 都市の住まい方	H 4・4	331	30 九州の神々	H 13・2
306	5 歴史の町並み PART1	H 4・8	332	私の博物誌	赤間関書房 S 50・4
307	6 屋 台	H 5・1	333	英彦山	読売新聞西部本社 S 50・9
308	7 博多と堺	H 5・7	334	下関の方言	富田 義弘 S 52・4
309	8 ものづくり風土記	H 5・12	335	なにわ職もよう	朝日新聞大阪本社
310	9 博多祇園山笠	H 6・6	336	商は笑なり	毎日新聞大阪本社
311	10 文学のある風景	H 6・12	337	韓国からの便り	倉橋 葉子
312	11 アジアの市場+九州の市場	H 7・5	338	日本破局のシナリオ	古賀 一成
313	12 西海の捕鯨	H 7・10	339	日韓共生への道	安 光浩
314	13 歴史の町並み PART2	H 8・1	340	檜橋渡伝	S 57・5
315	14 石に聞く	H 8・5	341	幾山河	瀬島龍三回想録 H 7・9
316	15 肥前の磁器	H 8・8	342	文協おおかわNo.20～	大川文化協会 H 10～
317	16 有明海大全	H 8・12	343	輝く サードエイジへ	九州ニアライフアドバイザー協会 H 20・6
318	17 九州温泉国	H 9・3	344	企業トップ32人のこの一冊	住 友 生 命 H 7
319	18 博物館へ行こう	H 9・6	345	日本建築雑作図案	金子 清吉 T 15・4
320	19 九州茶のふるさと	H 9・9	346	長崎大水害体験記	長崎県印刷工組 S 57・7
321	20 創刊20号記念 いま、福岡	H 10・1			
322	21 九州と南蛮文化	H 10・4			
323	22 陶器いろいろ	H 10・7			
324	23 焼酎礼賛	H 10・10			
325	24 山頭火がゆく	H 11・1			
326	25 九州芸能集成	H 11・5			
327	26 洋学の九州	H 11・9			
328	27 九州シネマパラダイス	H 12・4			

## 自分史資料

1	自分史を書く喜び	藤田 敬治	H18・11
2	三代記年表	藤田 敬治	H18・11
3	自費出版実践録	林 克利	H6・12
4	自費出版体験集	神戸 康	H8・2
5	世界で一冊の本	村田 裕利	H7・2
6	20世紀の回顧	新風書房	H13・6
7	自分史ノート	新風書房	H11・2
8	現代のエスプリ自分史	至文堂	H7・9
9	九州・宮崎と出版	田中 薫	H16・4
10	書籍と活字	田中 薫	H11・3
11	自費出版	田中 薫	H13・3
12	書籍と紙	田中 薫	H15・5
13	メディア表現とパブリケーション教育	田中 薫	
14	創刊号に見る戦後日本の雑誌	田中 薫	
15	名文を書かない文章講座	村田喜代子	H12・10
16	自分史 その理念と試み	色川 大吉	
17	ひとびとの声が聞こえる	日本自費出版ネットワーク	H20・7